

# 施策評価管理シート

2020(令和2)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	4	上水道		

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○「名張市水道ビジョン」に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設や老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図るなど、災害に強い水道施設を整備するほか、水質管理体制の充実により、安心して飲める良質な水道水を供給します。

## 2. 令和元年度の実施内容及びその成果



- ・平成23年度～令和2年度の10年間を計画期間とする名張市水道ビジョンに基づき、管路や施設設備の更新改良を実施しています。
- ・上三谷・竜口系のポンプ所、配水池の経年化した機械・電気設備を更新しました。
- ・経年化した滝之原系電気設備の更新と合わせ、滝之原第2配水池への送水をすずらん台最高区配水池からに変更し、滝之原第2ポンプ所の廃止をしました。
- ・国道165号や名張地区及び桔梗が丘地区の老朽管を約5.6km更新し、耐震化を図りました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
上水道サービスに満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	77.6	100.0%
	成果	75.1	79.3	78.6				
経年化設備率(%) (浄水場対象)	目標	-	-	-	-	-	11.5	0.0%
	成果	12.5	12.5	12.5				
基幹管路における耐震管延長(m) (導水管・送水管・φ300mm以上配水管)	目標	-	-	-	-	-	10,500	5.8%
	成果	9,590	9,643	9,643				

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・名張市水道ビジョンに基づき、上水施設や管路の老朽化した施設の更新及び耐震化に取り組んでいますが、経年化による管路等の更新需要は、今後さらに増大していくことが予想されます。
- ・令和3年度～令和12年度を計画期間とする次期水道ビジョンの策定を進めています。
- ・河川の水質状況に応じた適切な浄水処理対応を迅速に行っていく必要があります。
- ・人口減少や節水技術の進展により水需要が減少し、料金収入が減少傾向にあります。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和2年度以降)



- ・令和3年度～令和12年度を計画期間とする次期水道ビジョンの策定を令和2年度に完成させます。
- ・経年化した梅が丘系の配水池やポンプ所の機械・電気設備の更新改良を計画的に推進します。
- ・国道165号や桔梗が丘地区などの老朽管を耐震管に更新することにより、耐震化等災害に強い水道施設の整備を推進します。
- ・水安全計画の運用により、カビ臭等の低減を図り、上水道サービスの満足度の向上に努めます。
- ・中長期的な財政見直しにより、今後増大していく施設の更新計画を立て、将来にわたり安定した上水道サービスの提供が可能な事業運営に取り組んでいきます。



# 事務事業シート

(R.2)No.	7012	(R.1)No.	7012
----------	------	----------	------

事務事業名	水道事業会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
上下水道部	経営総務室	奥本 敏文	

会計区分	事業コード	007012
水道事業会計	(中事業名)※予算書事業名	
款		
項	(小事業名)	
目		

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画 名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)
	基本施策	5 快適な生活環境づくり	
	施策	4 上水道	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	持続可能で安心安全な水道サービスの提供
事業内容	名張市水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図ります。また、水道水源の保全や水質の向上に努め、安心して飲める良質な水道水を供給します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)	
	主な事業の実績・計画	水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等  <H30繰越分> 資本的支出 402,786千円  <R1現年分> 収益的支出 1,844,334千円 資本的支出 526,978千円		水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等  <R1繰越分> 資本的支出 284,390千円  <R2現年分> 収益的支出 2,011,102千円 資本的支出 1,318,638千円		水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出1,874,601千円 資本的支出1,518,111千円			水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出1,890,120千円 資本的支出1,781,406千円		水道事業の運営 老朽化施設、管の更新・改良、耐震化等 収益的支出1,953,050千円 資本的支出1,672,929千円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費	402,786千円	2,220,292千円	284,390千円	3,144,464千円	3,207,436千円	3,486,250千円	3,440,703千円
内訳(千円)							
国・県支出金						1,000	25,000
地方債					389,400	499,950	647,150
一般会計からの繰入金		95,018		88,199	99,856	133,911	94,893
一般財源	402,786	2,125,274	284,390	3,056,265	2,718,180	2,851,389	2,673,660
人工数							
職員		18.00人		18.00人	18.00人	18.00人	18.00人
臨時職員等		4.46人		4.46人	4.46人	4.46人	4.46人
②概算人件費	0千円	151,020千円	0千円	185,276千円	185,276千円	185,276千円	185,276千円
①+②総事業費	402,786千円	2,371,312千円	284,390千円	3,329,740千円	3,392,712千円	3,671,526千円	3,625,979千円